

人材育成学会・第39回研究会のお知らせ

「新型コロナ感染拡大時の医療現場から見てくるもの」

環境からの“Jolts”（異常事態）に医療機関はどう対応したか、はかつて研究されたこともありました。しかし、今年の新型コロナウイルスの発生は、病院というより、世界規模での社会全体の“Jolts”になっています。そこでは、喫緊の問題としてコロナ感染拡大への対策もありますが、他方で、社会の根幹を揺るがす異常事態に対して「ニューノーマル（新たな常態）」を探り、そこにどう移行するかということも大きなテーマとなっています。

このような状況のもと、第39回研究会を上記のテーマで企画しました。実際に、コロナ患者を受け入れた病院でどのようなことが起こっていたのか。医療崩壊ということが叫ばれていました。そこには、おそらく想像を絶する世界があったかと思われます。話題提供者として、今回は医療関連の機関から4名の方をお招きいたしました。事務部門、医師、看護部門といった3つの立場から、医療現場で起きていた生の話をうかがいます。

後半では、「コロナ後」、「ニューノーマル」といった問題を扱う予定です。現在、マスク着用、ソーシャルディスタンスなどの感染管理をした上での生活、仕事、学習が求められています。それに合わせて、教育や人材育成の面では、対面式からEラーニングへというように教育手法の転換や、教える内容にも変化がみられています。

また、“Jolts”が襲ってきた時に、組織的にどう対応したらよいかも重要な課題です。変化が大きいほど、組織をあげて統一した行動、状況を踏まえた方針策定をして部門や現場に伝え徹底するかは、見逃しがちですが異常事態を乗り切るには不可欠の行動です。

これらの話題を話題提供者とともに、参加者も交えて話し合えればと思っています。多くの方の参加をお待ちしています。

最後になりますが、今回ZOOMによりますオンライン方式での研究会となります。人材育成学会にとって初めての試みです。「ニューノーマル」への移行の一つ試みともいえます。しかし、初めての試みは、いろいろとトラブル等の問題が生じがちです。参加者の中にはいらだちや不安を感じずる方も出てくるかもしれません。可能な限り円滑な進行に努めますので、ご理解とご協力よろしくお願いたします。

人材育成学会 常任理事 城戸 康彰（産業能率大学教授）

【話題提供者】

渡辺明良氏（聖路加国際大学法人事務局長）

矢野博子氏（高知医療センター総合診療科医長）

井上ふみ子氏（川崎市立多摩病院看護副部長）

荒木暁子氏（公益社団法人日本看護協会常任理事）

司会・進行

城戸康彰氏 産業能率大学経営学部（人材育成学会常任理事）

事 項

- 日 時 2020 年 7 月 26 日（日） 13：30～ 16：30
- 研究会の方法：ZOOM によるオンライン方式
- 研究会プログラム
 - 13：15～ ミーティングルームへの入場
 - 13：30～13：40 開会のご挨拶・プログラム説明
 - 13：40～14：50 話題提供者からの報告
 - 14：50～15：00 休憩
 - 15：00～16：25 コロナ後の人材育成・組織のあり方
 - 16：25～16：30 終了の挨拶

- 参加費： 今回は会員のみ参加とし、参加費は無料とします。
- 申込方法：Eメールに次の事項を記載し、下記の研究会事務局にお送りください。
 - ①お名前 ②ご所属 ③会員番号（会費を既にお支払いいただいております方は「会費支払済」とご記載ください）
 - ④ZOOM の使用に関するコメントがあればご記載ください。例、「使用に不慣れである。」
（必須ではありません）
- 参加通知：研究会が開催されます ZOOM のミーティングルームへのアクセス権限は、期限内に参加申込された方のみ付与されます。ミーティング参加の ID およびパスワードは、Eメールでお知らせします。
- 受講票：上記のミーティング参加の ID およびパスワードの発行をもって受講票といたします。
- 申込み期間：2020 年 7 月 6 日（月）～2020 年 7 月 20 日（月）
- 送付先： 〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15
 学校法人産業能率大学内 人材育成学会 研究会事務局宛
 JAHRD@hj.sanno.ac.jp / 03-5758-5501(Fax)